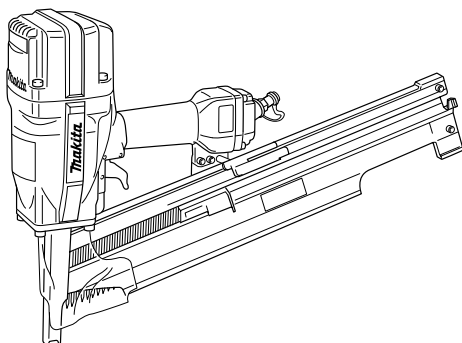
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

エア釘打

モデル AN921

このたびは**エア釘打**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

モデル 主要機能	AN921
使用空気圧力	0.44 ～ 0.83MPa（4.5 ～ 8.5kgf/cm^{2}G）
使用釘スティック釘	CN65,CN75,CN90,BN65,BN75,BN90,31-65,34-75, 34-90,31-75SC,33-90SC
釘装てん数	46-50 本（2 連）
質量	3.8kg
本機寸法	長さ 558mm ×高さ 364mm ×幅 112mm
使用ホース	φ8.5mm 以上

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPB069-1

・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

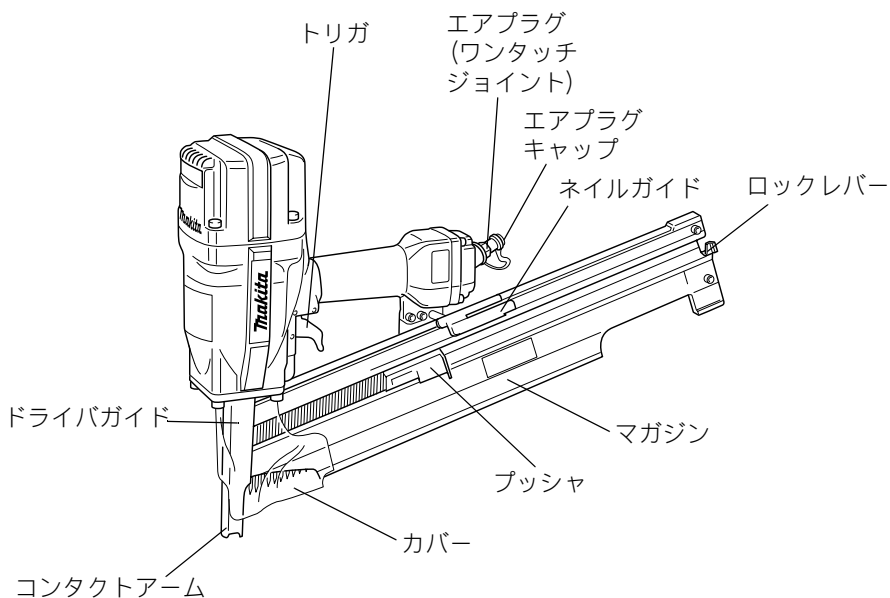
1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
・ 機械の取扱い知識が不十分な場合、事故の原因になります。
2. 次のときは、機械を使用しないでください。
・ 事故の原因になります。
○ 疲れているとき、身体が不調なとき。
○ 酒類や薬物を飲んで正常な運転操作ができないとき。
3. 保護メガネ、耳栓を装着し、また作業環境に応じてヘルメットなども着用して釘打ち作業をしてください。
・ 装着しないと打ち損じの釘や釘の連結片で目などにけがをしたり、排気音で耳を痛める原因になります。
4. 揮発性可燃物（ガソリン・シンナーなど）の近くでは使用しないでください。
・ 釘を打ち込むときの火花で火災を起こす恐れがあります。
5. 釘打ち作業以外の用途には使用しないでください。
・ 事故の原因になります。
6. 機械に刻印や溶接等の改造をしないでください。
・ 外枠が破損し、けがの原因になります。
7. 動力源は圧縮空気を使用してください。
・ 圧縮空気以外のガス（プロパン、アセチレン、酸素など）を用いると爆発する恐れがあります。
8. 圧縮空気の圧力は 0.44 ～ 0.83 Mpa（4.5 ～ 8.5 kgf/cm^{2}G）の範囲内で使用してください。
・ 高過ぎる圧力は、損傷による事故の原因になります。
9. カバーは、はずさないでください。
・ はずすと釘の連結片や打ち損じの釘が飛散し、事故の原因になります。
10. 安全装置が正常に作動するか確認してからご使用ください。
・ 安全装置に異常があると、事故の原因になります。
11. 足場を使って作業する場合、常に足場をしっかりさせ、バランスが保てる姿勢で作業してください。
・ 足場が不安定だと事故の原因になります。
12. 屋根などで作業をするときは、前進しながら打つようにしてください。
・ 後退しながら打つと足を踏みはずし、事故の原因になります。
13. 近くに人がいないことを確認してから作業を始めてください。
・ 打ち損じの釘や釘の連結片などがあたりけがをする原因となります。

⚠警告

14. 壁の内、外側からの同時作業はしないでください。
・ 釘が突き抜けたりそれたりしたとき、事故の原因になります。
15. 高所での作業のときは、ホースの固定箇所を設けてください。
・ 不意に引っ張られたり、引っかかったりしたとき、事故の原因になります。
16. 射出口を人に向けたり、手足を射出口付近に近づけたりしないでください。
・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
17. トリガに指をかけたまま持ち運んだり、手渡しなどをしないでください。
・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
18. エアホースをつなぐときは、トリガに指をかけないでください。
・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。
19. 次の場合は、トリガをロックしエアホースを本機からはずしてください。
・ 誤って機械が作動すると事故の原因になります。
  ○ 修理する場合。
  ○ 釘を装てんする場合、また取り出す場合。
  ○ 作業中、機械を持って移動する場合。

⚠注意

1. 裾や袖の締まりのよい服装をしてください。
・ 袖口や裾の開いた衣服などで作業しますと、事故の原因になります。
2. 作業場は、いつも明るくきれいにしてください。
・ 暗かったり、ちらかったところでの作業は事故の原因になります。
3. 使用前に、部品が損傷していないか、ボルトがゆるんでいないかを点検してください。
・ 不完全な機械を使用すると、事故の原因になります。
4. 作業する箇所に電線管やガス管などの埋設物がないことを確かめてください。
・ 埋設物を損傷すると感電やガス漏れ事故の原因になります。
5. 射出口を確実に材料に当ててください。
・ 確実に当てていないと、釘がはね返り、事故の原因になります。
6. 作業中は、機械に顔などを近づけないでください。
・ 釘の上や木の節などに当たった場合、機械が大きく反動し、けがをする原因になります。
7. 作業中に機械の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合には、ただちに使用を中止してください。
・ そのまま使用していると事故の原因になります。
8. 機械及びコンプレッサは、空気充填のまま長時間直射日光に当てて放置しないでください。
・ タンク内の高圧の空気がさらに高圧になり、事故の原因になります。
9. 機械の握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ってください。
・ 握り部が滑りやすいとけがの原因になります。
10. いつも安全に能率よくご使用いただくために、定期点検をお勧めします。点検修理は、お買い求めの販売店またはお近くの弊社直営事業所にお申しつけください。
・ 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因となります。

各部の名称および標準付属品

標準付属品

- **セーフティゴーグル**
  (保護メガネ)
- **プラスチックケース**
- **油サシ**
  (タービン油 #90、30mL 入)
  部品番号 181434-7

別販売品のご紹介

別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

- **エアホースアッセンブリ（ワンタッチジョイント付）**
  内径 φ8.5mm ×長さ 20m
- **エア 3 点セット**
  部品番号 A-13041
- **スティック釘**

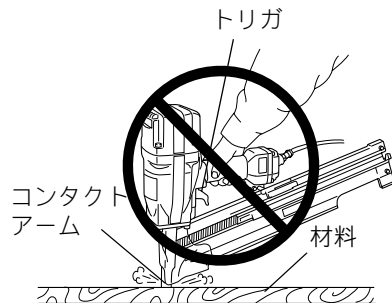
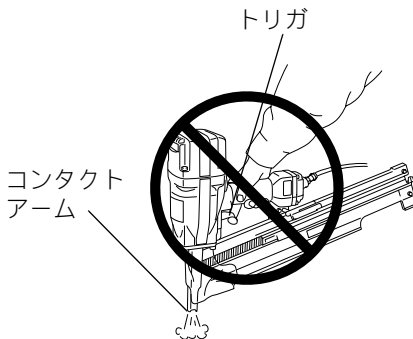
<table>
<tr><th colspan="2">種　類</th><th>長さ
(㎜)</th><th>胴径
(㎜)</th><th>部品番号</th><th>梱包単位
(1 箱)</th></tr>
<tr><td rowspan="3">2 × 4 用 JIS 相当品</td><td>黄バーブド
(CN65)</td><td>65</td><td>3.3</td><td>A-16508</td><td rowspan="2">1,500 本× 2</td></tr>
<tr><td>青バーブド
(CN75)</td><td>75</td><td>3.8</td><td>A-16514</td></tr>
<tr><td>赤バーブド
(CN95)</td><td>90</td><td>4.1</td><td>A-16520</td><td>1,150 本× 2</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">在来工法用スムース</td><td>65</td><td>3</td><td>A-16704</td><td rowspan="5">1,500 本× 2</td></tr>
<tr><td>75</td><td>3.4</td><td>A-16695</td></tr>
<tr><td>90</td><td>3.4</td><td>A-16689</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">在来工法用スクリュ</td><td>75</td><td>3</td><td>A-16726</td></tr>
<tr><td>90</td><td>3.3</td><td>A-16710</td></tr>
</table>

使い方

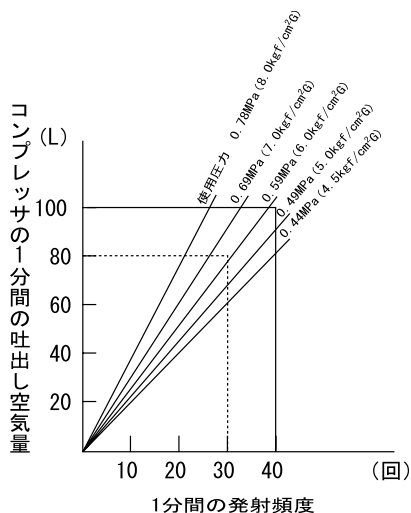
安全装置の確認

⚠警告
安全装置に異常がある場合は使用しないでください。 ・　そのまま使用すると、事故の原因になります。

・　釘を打つ作業に入る前に安全装置に異常がないかを下記の手順で確認してください。

1. 作業にはいる前に本機に釘が装てんされていないことを確認してください。
   (釘が装てんされている場合は、本機よりエアホースをはずし、釘を取り除いてください。)
2. プッシャをロックレバーでロックさせます。
3. 本機にエアホースを接続します。
4. トリガだけを引いてください。
   トリガから指を離しコンタクトアームを材料に押し当ててください。
5. 上記 4 の操作で本機が作動する場合は安全装置が異常です。

使い方

コンプレッサの選定について

・ 本機を能率よく使用されるために、コンプレッサの最高圧力と吐出し空気量は余裕のあるものを使用してください。コンプレッサを選定される時は右図を参考にしてください。
右図は本機での発射頻度、使用圧力とコンプレッサの吐出し量の関係を示します。たとえば、使用圧力が 0.59MPa (6.0kgf/cm^{2}G) で発射頻度が 1 分間に約 30 回ですと、吐出し空気量 80L/min (L/ 分) 以上のコンプレッサが必要です。

エアホースの選定について

・ 連続作業を効率よく行うためにエアホースは太く短い物を使用してください。
※内径 φ8.5mm 以上、長さ 20m 以下のエアホースを使用する事を目安に選定してください。

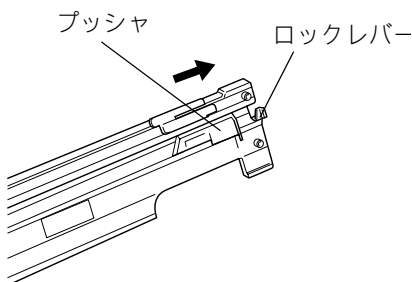
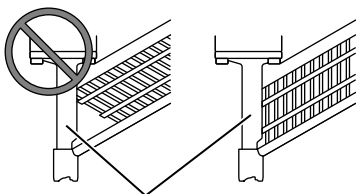
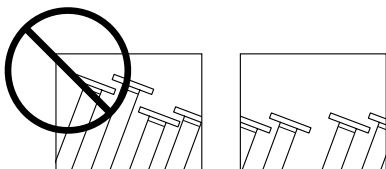
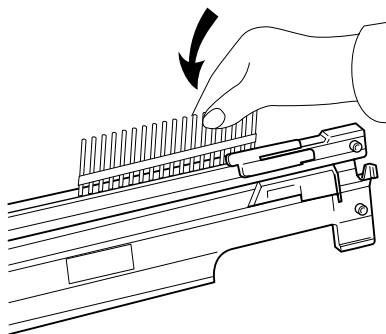
注

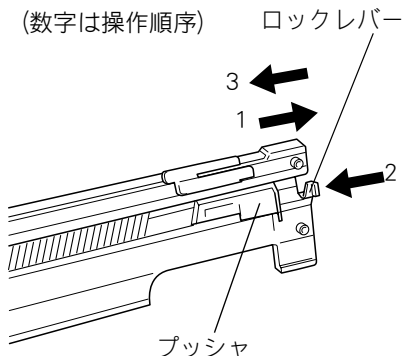
・ **釘の発射頻度にくらべコンプレッサの吐出量が少ない場合や、エアホースの内径が細いか、長さが長すぎる場合は、打ち込み力が低下します。**

釘の装てんについて

⚠警告
釘を装てんする場合は必ず本機からエアホースをはずしてください。 ・ 誤って本機が作動すると、事故の原因になります。

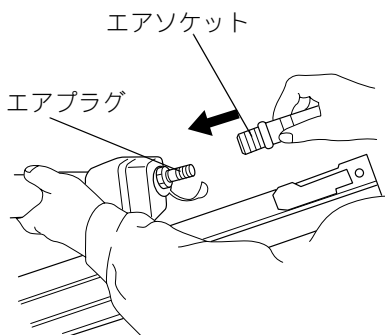
⚠注意
プッシャは必ず手でゆっくりもどしてください。 ・ プッシャの固定を解除した際、そのままプッシャをはなすと、バネの力によりプッシャが勢いよく戻り、指をはさんだり又は、釘の連結が変形し釘づまり等の原因になります。

・ 用途に合わせ別販売品のご紹介より釘を選定します。
・ 本機よりエアホースがはずしてあることを確認してください。
・ プッシャに指をかけてそのまま後方に引き、プッシャがロックレバーに「カチッ」と音がして止まるまでいっぱいに引きます。

・ 釘をマガジン上部から入れます。(2連の釘が装てんできます。) この場合、後方の釘が前方の釘の上に重なるようにしてください。また釘がドライバガイドと平行の向きになるように装てんしてください。

使い方

・ プッシャを引きながらロックレバーを押し、次にロックレバーを押したままの状態でプッシャをゆっくり釘を押す位置まで戻します。

注

・ 釘や釘の連結が変形したものは使用しないでください。
・ 指定の釘を使用してください。
指定以外の釘を使用しますと、釘づまり、故障の原因になります。
・ プッシャを後方へ引きロックレバーで固定してからマガジン内へ釘を入れてください。
・ プッシャを固定してから釘を入れないとネイルガイドが作動せず釘送不良の原因になります。

エアホースの接続

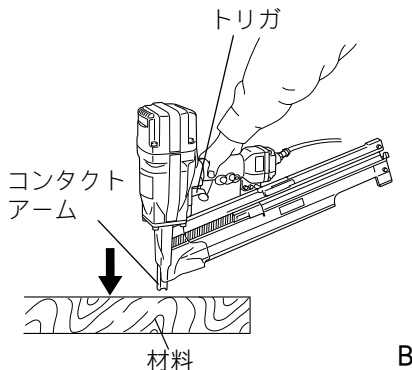
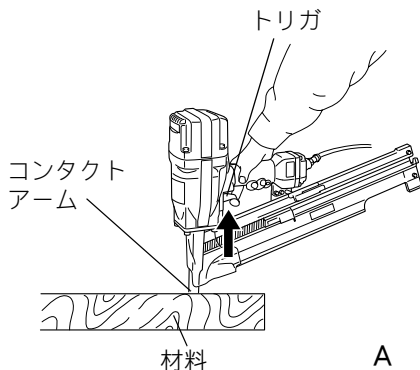
・ 本機のエアプラグにエアホースのエアソケットを差し込んでください。

エアホースの取りはずし

⚠警告

本機よりエアホースを取りはずす際は、トリガに指をかけないでください。
・ 誤って本機が作動すると、事故の原因になります。

使い方

打ち込み方法について

- コンタクトアームを材料に当ててからトリガを引き、打ち込む方法 A とトリガをあらかじめ引いておいて、コンタクトアームを材料に当てて打ち込む方法 B の 2 つの方法があります。
- A の方法は断続的ですが正確な打ち込み位置や、釘の頭と材料との面位置を合わせる必要があるときに、B は連続作業に適しています。

注

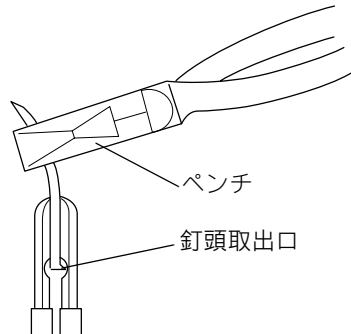
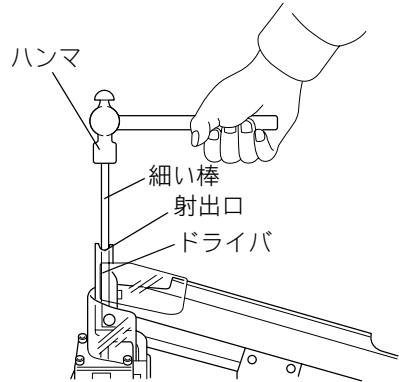
- 釘が材料に入りすぎたり、浮いたりする場合は、使用空気圧 0.44 ～ 0.83MPa（4.5 ～ 8.5kgf/cm^{2}G）の範囲で圧力を調整してください。

使い方

釘づまりの直し方

⚠警告

作業に入る前に本機からエアホースをはずしてください。
・　誤って本機が作動すると、事故の原因になります。

・　釘をマガジンより抜き取ります。
・　作業に入る前に本機からエアホースを外してください。
・　発射口より細い棒をいれ、詰まった釘をハンマでたたいてドライバを戻します。
・　釘の頭が釘頭取出口から取り出しやすいように釘の胴部をペンチで曲げ、釘を取り出してください。

別販売品の使い方

エアセットについて

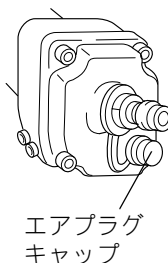
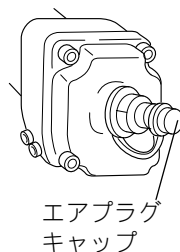
・ エアセットをご使用頂きますと、本機の作動性と防錆性を長期間最適の状態に保つことができます。
・ ご使用の際は、エアセットから本機までのエアホースの長さをおおよそ10m 以内としてください。オイラの油滴下の量は 50 回打ち込むごとに 1 滴（約 0.02mL）の割合で調整してください。
・ エアセットのオイラを使用しない場合は使用前後にエアプラグから付属のタービン油を数滴注油してください。作業前の注油は潤滑油となります。作業後は注油してから数回発射してください。油が本機全体に行きわたり錆止めとなります。長時間作業される場合は注油回数をふやしてください。

保守・点検について

コンプレッサ・エアセット・エアホースの保管・点検

・ 作業後は必ずコンプレッサのタンクおよびエアセットのエアフィルタ内の水抜きをしてください。水がたまった状態で使用されますと、本機の能力が低下するばかりでなく、故障の原因になります。
・ エアセットのオイラ内にタービン油が入っているか定期的に点検してください。油がない状態で使用しますと、O リングの早期摩耗の原因となります。
・ エアホースは熱 (60 ℃以上)、薬品 (シンナー、強酸、強アルカリなど) および傷つけやすいものから保護するようにしてください。

作業後の保管

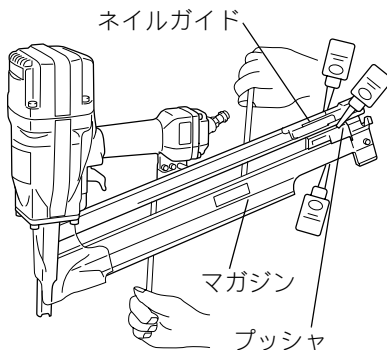
・ 使用しないときにはエアホースをはずし、エアプラグにエアプラグキャップをしてください。
・ 長時間使用しないときは防錆のため摺動部にマシン油などを塗布し、プラスチックケースに収納してください。
・ 湿気の多い所、日光の当たる所、粉塵の多い所は避けて保管してください。

作業後

注

・ **本機内にゴミやほこりなどが入ると、故障の原因になります。**

保守・点検について

マガジンの手入れ

⚠ 警告
作業に入る前に本機からエアホースをはずしてください。 ・　誤って本機が作動すると、事故の原因になります。

・　マガジン内に異物（木くずや釘連結片など）が入っている場合は細い棒などで取り除き、付属のタービン油をプッシャとネイルガイドのしゅう動部に塗布してください。異物を取り除かないと釘送りが悪くなったり釘づまりの原因になります。またタービン油を塗布することにより、プッシャの動きがスムーズになり、錆止めにもなります。

純正オイルの使用

・　オイルは純正のオイルを必ず使用してください。作業終了時に最良の状態を保つために空気取り入れ口より付属のタービン油を数滴注油してください。

本機のお手入れ

・　乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

・　ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

・　修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141
札幌営業所	〈011〉(783) 8141
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849
函館営業所	〈0138〉(49) 9273
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833
北見営業所	〈0157〉(26) 9011
仙台支店	〈022〉(284) 3201
仙台営業所	〈022〉(284) 3201
古川営業所	〈0229〉(24) 0698
青森営業所	〈017〉(764) 4466
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101
郡山営業所	〈024〉(932) 0218
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061
福島営業所	〈0243〉(22) 1204
新潟支店	〈025〉(247) 5356
新潟営業所	〈025〉(247) 5356
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530
山形営業所	〈023〉(643) 5225
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551
秋田営業所	〈018〉(863) 5205
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295
小山営業所	〈0285〉(25) 5559
水戸営業所	〈029〉(248) 2033
土浦営業所	〈029〉(821) 6086
埼玉支店	〈048〉(777) 4801
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801
川越営業所	〈049〉(222) 2512
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647
越谷営業所	〈048〉(976) 6155
前橋営業所	〈027〉(232) 5575
高崎営業所	〈027〉(365) 3688
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661
千葉支店	〈043〉(231) 5521
千葉営業所	〈043〉(231) 5521
市川営業所	〈047〉(328) 1554
成田営業所	〈0476〉(73) 8101
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908
柏営業所	〈04〉(7175) 0411

事業所名	電話番号
東京支店	〈03〉(3816) 1141
東京営業所	〈03〉(3816) 1141
中野営業所	〈03〉(3337) 8431
足立営業所	〈03〉(3899) 5855
大田営業所	〈03〉(3763) 7553
江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171
多摩営業所	〈042〉(384) 8411
立川営業所	〈042〉(542) 1201
横浜支店	〈045〉(472) 4711
横浜営業所	〈045〉(472) 4711
川崎営業所	〈044〉(811) 6167
平塚営業所	〈0463〉(54) 3914
相模原営業所	〈042〉(757) 2501
湘南営業所	〈0466〉(87) 4001
静岡支店	〈054〉(281) 1555
静岡営業所	〈054〉(281) 1555
沼津営業所	〈055〉(923) 7811
浜松営業所	〈053〉(464) 3016
甲府営業所	〈055〉(276) 7212
金沢支店	〈076〉(249) 5701
金沢営業所	〈076〉(249) 5701
七尾営業所	〈0767〉(52) 3533
富山営業所	〈076〉(451) 6260
高岡営業所	〈0766〉(21) 3177
福井営業所	〈0776〉(35) 1911
岐阜支店	〈058〉(274) 1315
岐阜営業所	〈058〉(274) 1315
多治見営業所	〈0572〉(22) 4921
松本営業所	〈0263〉(85) 4751
長野営業所	〈026〉(225) 1022
上田営業所	〈0268〉(22) 6362
飯田営業所	〈0265〉(24) 1636
名古屋支店	〈052〉(419) 0561
名古屋営業所	〈052〉(419) 0561
豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117
岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443
知多営業所	〈0569〉(48) 8470
一宮営業所	〈0586〉(75) 5382
東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072
津営業所	〈059〉(232) 2446
四日市営業所	〈059〉(351) 0727
伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210
京都支店	〈075〉(621) 1135
京都営業所	〈075〉(621) 1135
福知山営業所	〈0773〉(23) 7733
大津営業所	〈077〉(545) 5594
彦根営業所	〈0749〉(22) 6184

事業所名	電話番号
大阪支店	〈06〉(6746) 7220
大阪営業所	〈06〉(6746) 7220
東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
三木営業所	〈0794〉(82) 7411
尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
神戸営業所	〈078〉(672) 6121
姫路営業所	〈079〉(281) 0204
広島支店	〈082〉(293) 2231
広島営業所	〈082〉(293) 2231
福山営業所	〈084〉(923) 0960
三原営業所	〈0848〉(64) 4850
岡山営業所	〈086〉(243) 4723
宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
松江営業所	〈0852〉(21) 0538
高松支店	〈087〉(867) 6411
高松営業所	〈087〉(867) 6411
徳島営業所	〈088〉(626) 0555
松山営業所	〈089〉(951) 7666
宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
高知営業所	〈088〉(884) 7811
福岡支店	〈092〉(411) 9201
福岡営業所	〈092〉(411) 9201
北九州営業所	〈093〉(551) 3481
飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
長崎営業所	〈095〉(882) 6112
佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
熊本支店	〈096〉(389) 4300
熊本営業所	〈096〉(389) 4300
八代営業所	〈0965〉(43) 1000
大分営業所	〈097〉(567) 3320
宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
関東物流センター	〈048〉(771) 3451
関西物流センター	〈0725〉(46) 6715

881723E7

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)